



## 平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月1日

上場会社名 株式会社ライトオン 上場取引所 東  
 コード番号 7445 URL <http://www.right-on.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横内 達治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 三浦 憲之 TEL 029-858-0321  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月4日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第3四半期の業績（平成25年8月21日～平成26年5月20日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	58,981	△8.3	2,642	△31.8	2,583	△31.9	1,106	△45.2
25年8月期第3四半期	64,310	△3.6	3,875	△11.6	3,793	△12.2	2,019	13.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	40.72	40.51
25年8月期第3四半期	74.96	74.37

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期第3四半期	61,392	33,528	54.5	1,230.67
25年8月期	61,905	32,973	53.1	1,210.84

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 33,432百万円 25年8月期 32,876百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年8月期	—	10.00	—		
26年8月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年8月期の業績予想（平成25年8月21日～平成26年8月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△4.2	2,270	△35.8	2,200	△35.6	780	△53.6	28.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期3Q	29,631,500株	25年8月期	29,631,500株
② 期末自己株式数	26年8月期3Q	2,465,347株	25年8月期	2,479,398株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期3Q	27,161,607株	25年8月期3Q	26,945,894株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年8月21日～平成26年5月20日)におけるわが国経済は、政府による各種政策などにより、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げ後は景気回復が弱い動きとなっていることや、引き続き海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は「顧客満足こそブランディングの本質」という考え方のもと、ブランディングの確立に向けた取り組みを行ってまいりました。

商品面におきましては、当社の核であるジーンズを中心に、人気のナショナルブランドを取り揃えるとともに、機能的な商品やトレンドを取り入れた商品など、魅力的なプライベートブランド商品の開発に努めてまいりました。

また、販売促進活動におきましては、メンバーズ会員やメールマガジン会員など、これまで複数あった会員組織を一元化し、会員サイト「ライト!」を新設することにより、お客様の利便性を高めるとともに、お客様参加企画などを通じて、お客様にお買い物をより楽しくお得に感じていただけるよう努めてまいりました。

店舗展開におきましては、新規業態としてプライベートブランドであるバックナンバーを軸に、国内外からセレクトしたウェアや雑貨を取り揃えたライフスタイルストア「バックナンバー」を開発し、阪急西宮ガーデンズ店(兵庫県西宮市)をはじめとして新たに4店舗を出店いたしました。また、その他店舗の出退店におきましては、27店舗を出店するとともに、効率化を図るために15店舗を閉店し、当第3四半期累計期間末店舗数は494店舗となりました。

当第3四半期累計期間におきましては、上半期は11月上旬まで気温が高かったことにより、秋物商品の販売は厳しく、冬物商品も気温の低下とともに、保温・発熱機能付きのボトムスなど一部堅調に推移した商品もあったものの、大雪など天候不順の影響もあり全般的に苦戦いたしました。当第3四半期会計期間におきましても、消費税率引き上げの影響などもあり、春物商品の販売は総じて厳しいものとなりました。以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は58,981百万円(前年同四半期比8.3%減)となりました。

また、売上動向が鈍かったため、値下げロスが増加し、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、営業利益は2,642百万円(前年同四半期比31.8%減)、経常利益は2,583百万円(前年同四半期比31.9%減)、四半期純利益は1,106百万円(前年同四半期比45.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて512百万円減少し、61,392百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べて1,336百万円減少し、37,408百万円となりました。これは主に商品が4,247百万円増加したこと、現金及び預金が5,241百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて824百万円増加し、23,983百万円となりました。これは主に有形固定資産が831百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて1,067百万円減少し、27,864百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて854百万円増加し、18,871百万円となりました。これは主に買掛金が836百万円、その他の流動負債が1,244百万円それぞれ増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が935百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1,921百万円減少し、8,992百万円となりました。これは主に長期借入金1,555百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて554百万円増加し、33,528百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加があったことによるものであり、総資産に占める自己資本比率は54.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年3月31日の「平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率が変更されました。この税率変更により未払法人税等が52百万円、法人税等が同額増加しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年8月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,701	17,459
売掛金	1,201	1,644
商品	11,969	16,217
その他	2,873	2,087
流動資産合計	38,745	37,408
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,526	7,971
工具、器具及び備品(純額)	1,155	1,572
その他(純額)	2,132	2,102
有形固定資産合計	10,815	11,646
無形固定資産		
ソフトウェア	490	623
その他	106	67
無形固定資産合計	597	691
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,988	10,915
その他	904	867
貸倒引当金	△145	△138
投資その他の資産合計	11,747	11,645
固定資産合計	23,159	23,983
資産合計	61,905	61,392
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,722	2,558
支払信託	9,094	8,863
1年内返済予定の長期借入金	3,070	2,135
1年内償還予定の社債	700	700
未払法人税等	535	712
賞与引当金	438	219
資産除去債務	26	7
その他	2,429	3,673
流動負債合計	18,017	18,871
固定負債		
社債	350	—
長期借入金	7,955	6,400
資産除去債務	2,422	2,421
その他	186	171
固定負債合計	10,914	8,992
負債合計	28,931	27,864

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年8月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,195	6,195
資本剰余金	6,481	6,481
利益剰余金	23,328	23,880
自己株式	△3,173	△3,155
株主資本合計	32,832	33,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43	32
繰延ヘッジ損益	1	△2
評価・換算差額等合計	44	29
新株予約権	97	95
純資産合計	32,973	33,528
負債純資産合計	61,905	61,392

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年5月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年5月20日)
売上高	64,310	58,981
売上原価	32,442	29,618
売上総利益	31,867	29,363
販売費及び一般管理費	27,992	26,720
営業利益	3,875	2,642
営業外収益		
受取家賃	71	59
貸倒引当金戻入額	11	7
その他	101	58
営業外収益合計	184	126
営業外費用		
支払利息	129	115
貸貸費用	66	56
その他	70	13
営業外費用合計	267	185
経常利益	3,793	2,583
特別利益		
新株予約権戻入益	5	2
移転補償金	24	—
特別利益合計	29	2
特別損失		
固定資産除却損	182	147
店舗閉鎖損失	7	2
減損損失	37	55
特別損失合計	228	205
税引前四半期純利益	3,594	2,380
法人税等	1,574	1,273
四半期純利益	2,019	1,106

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。